

再利用でコスト縮減！

盛岡・土木部におけるデリネーターの再利用の取り組み

1 はじめに

県土整備部では、厳しい財政環境下においても、県民が安心して暮らせる地域づくりのため、これまで蓄積した社会資本ストックを良好な状態で維持するための取組みや建設コストの縮減などに取り組んでいます。特に、コスト縮減については、従来の「工事コストの縮減」のほか、「時間的コストの低減」や「ライフサイクルコストの低減」などの施策を含む「公共工事コスト縮減対策岩手県新行動計画」に基づき、総合的なコスト低減に努めています。

今回の「知恵と工夫」のコーナーでは、盛岡地方振興局土木部で取り組んでいる、デリネーター（視線誘導標）の再利用によるコスト縮減の取り組みについて紹介します。

2 再利用の取り組みの概要

道路と歩道の上に視線誘導標といわれるデリネーターがありますが、車の安全走行を確保するため壊れたものについては、新しいものに交換する必要があります。

そこで今回、新たな試みとしまして、今まで壊れて処分していたデリネーターのうち、使える部分を切断して再利用してみました。

① デリネーター補修

折損、変形によりデリネーター上部の引き出し可能な箇所の廃物を再利用し補修しました。

● 施工箇所 岩手西根線 鴨沢地区から浮島地区
岩手平館線 愛宕下地区から横田地区

● 施工本数 40本

■ 着手前



■ 着手後



■ 加工接合部状況



② 伐採木利用による設置

90センチメートルの伐採木を利用し、デリネーター上部の支柱を再設置し、処分費用や材料費を縮減しました。

● 施工箇所 大志田停車場線 外山地区

● 施工本数 50本

■ 着手前



■ 着手後



■ 設置状況



4 コスト縮減の結果

右の図のように、補修の場合（施工箇所40本）、新設しないで再利用しますと約65%コスト縮減が図られました。

また、伐採木利用の場合（施工箇所50本）では、約85%の縮減幅になりました。捨てればゴミですが、使えば資源です！

（盛岡地方振興局土木部道路環境課）

